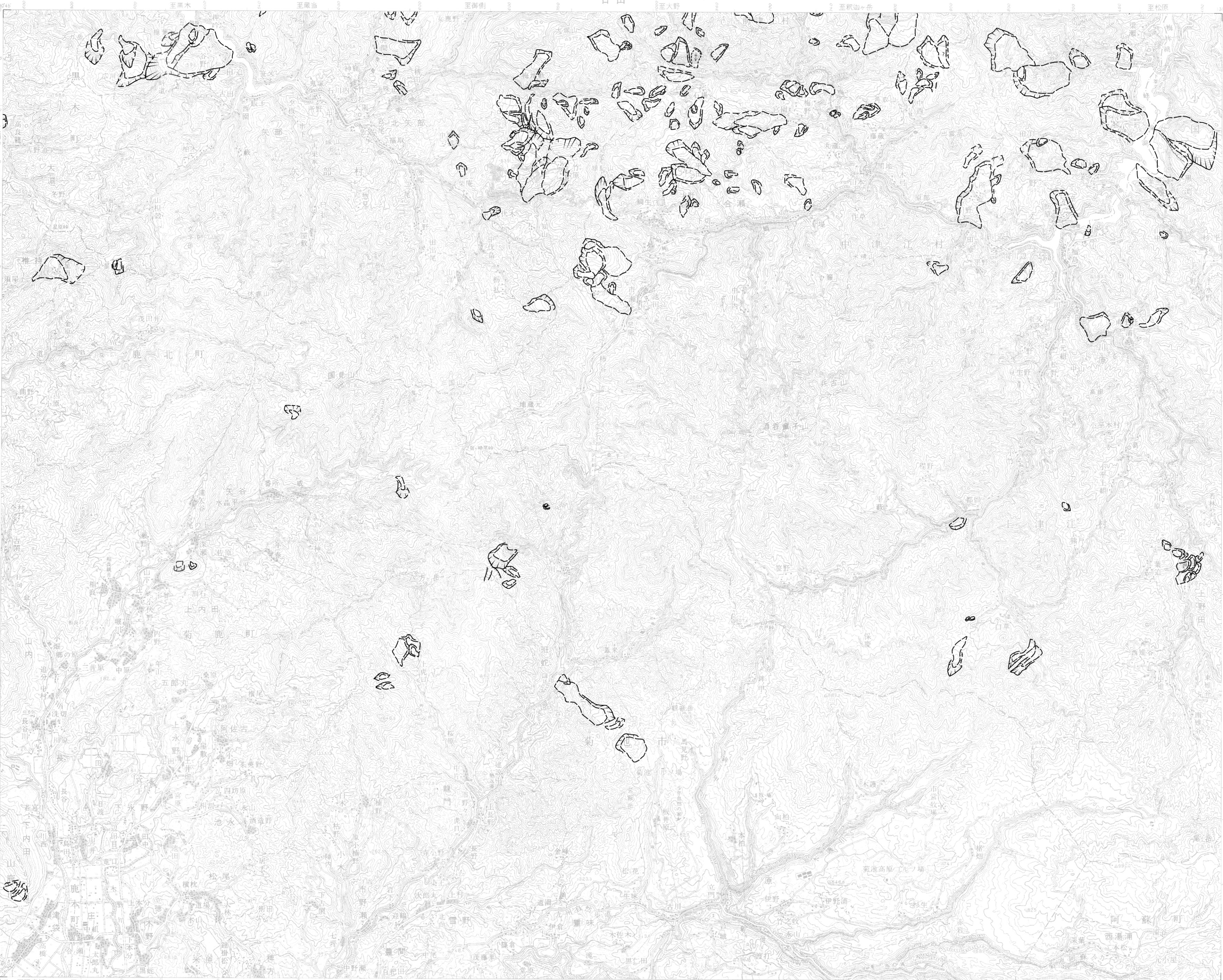


1:50,000 地形図 NI-52-11-2  
やぼうがたけ (熊本2号)

地すべり地形分布図 八方ヶ岳

Landslide Map of YAHOGATAKE



凡 例

輪郭構造  
滑落崖と側方崖

新鮮または開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖

開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖

中・緩斜の流れ壁すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急度を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。

後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界

後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能

後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土塊）が残存している

ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・削剥域下限

内部構造

二次・小滑落崖、崖線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす

サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭

移動体内の小尾根

幅の広い溝状凹地、亀裂

幅の狭い溝状凹地、亀裂

雁行亀裂

線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向

池

水のない窪地

膨隆地の前線

移動方向等

移動体の主移動方向

すべり

クリープ（匍行）

流れ・押し出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他

遮急線

活動層（地すべりを変位させている顕著な断層）

地層面等および節理・断裂の走向・傾斜

行政区画

索引図

|              |     |              |
|--------------|-----|--------------|
| 久留米          | 日 田 | 森            |
| 山 鹿<br>(熊 本) |     | 宮 原<br>(大 分) |
| 玉 名          | 菊 池 | 阿 蘇 山        |

( )内は所属20万分1図の図名

福岡県 1. 八女郡  
大分県 2. 日田郡  
熊本県 3. 鹿本郡 4. 山鹿市 5. 菊池市 6. 阿蘇郡

1:50,000 八方ヶ岳

防災科学技術研究所 National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention © 2008  
防災科学技術研究所研究資料 第316号

調査者 清水文健・井口 隆・大八木規夫  
by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI  
LM-696

調製 北海道地図株式会社東京支店